

## 0-1

# 女性皮膚の皮脂量・しわ幅の経年的推移と閉経女性の皮膚皮脂量・しわ幅に及ぼすブタ・プラセンタエキスの効果

○吉川 智香子<sup>1)</sup>、小池 浩司<sup>1)</sup>、山崎 怜奈<sup>1)</sup>、赤澤 純代<sup>2)</sup>、高野 文英<sup>3)</sup>、  
杉浦 幸一<sup>4)</sup>、鈴木 信孝<sup>5)</sup>、井上 正樹<sup>1)</sup>

1) 金沢大学大学院医学系研究科 産婦人科学教室、2) 金沢医科大学病院女性総合医療センター、  
3) 金沢大学医薬保健研究域薬学系 天然物化学研究室、4) 杉浦クリニック、  
5) 金沢大学大学院医学系研究科 補完代替医療学教室

### 【目的】

皮膚状態の評価法の中で、スキンアナライザーを用いた方法は手軽で簡便である。そこでスキンアナライザーを用いた皮膚皮脂量・しわの幅の測定法の確立を試み、日本人女性の年齢別正常値を定め、ブタ・プラセンタエキス(JBP ポーサイン 100)が皮膚状態に与える影響について検討した。

### 【方法】

(1)スキンアナライザー(Skin Diagnosis System New Aphrodete-3)を用いて、皮脂量・しわの幅の測定部位、測定方法について検討した。(2)20~79歳までの日本人女性175名を対象とし、皮脂量・しわの幅の経年的推移を観察した。(3)50~60歳の女性を対象にJBP ポーサイン 100(JBP100)の内服群と非内服群で皮脂量・しわの幅を比較検討した。

### 【結果】

(1)皮脂量測定ではTゾーン(眉間の正中上方)をクレンジングローション処理後15分で測定した場合、しわの幅の測定では眼輪の正中下部を測定部位として三か所のしわ幅を測定した場合、いずれも再現性のある測定が可能だった。(2)皮脂量は20~40代に向かって直線的に減少し、40~60代の皮脂量の値は20歳代の値に比べて有意に減少( $p<0.01$ )した。また、30歳代のしわの幅は20代に比べて有意に( $p<0.02$ )増加しており40~60代にわたり有意に( $p<0.01$ )増加していた。(3)JBP100の内服群(6錠/日、12週間)では、有意な皮脂量の増加( $p<0.05$ )としわの幅の減少( $p<0.05$ )が観察された。

### 【結論】

日本人女性は加齢に伴い、皮脂量の低下としわの増加が観察され、JBP100はその変化を改善する可能性が示唆された。